

第23号

あずま^{いい}ていね

手稲区

手稲区生活応援ボランティア養成講座を開催しました！

手稲区社会福祉協議会では、6月19日（水）に「生活応援ボランティア養成講座」を開催しました。当日は、ボランティア活動に興味のある方や介護に興味のある方などが参加されました。



参加者の皆さんの関心が高かった「傾聴」に関する講義では、講師のNPO北海道総合福祉研究センター 五十嵐教行 理事長のユーモアを交えたお話に、時折笑いが起きつつも、皆さん引き込まれるように耳を傾けていました。

「聴いてあげたい」「相手のことを深く知りたい」という気持ちが傾聴につながるというお話が印象的でした。

車いす操作や介助の基本を学ぶ講座では、手稲ヘルパーセンターの職員の方の指導のもと、2人1組となり、押す役、乗る役を交替しながら、室内を移動して介助を体験しました。

もし、声をかけずに急に方向を変えたら・・・乗っている方はびっくり、という実演も。声かけの大切さも学びました。



生活支援ボランティアグループ コルリ について



生活応援ボランティア養成講座の修了生によって結成されたボランティアグループ「コルリ」では、お話相手や外出時の付き添い、日常的な家回りの手入れ（草取り、木花の水やり等）など、暮らしのちょっとした困りごとのお手伝いを行っています。

＜支援の対象となる方＞

高齢者、障がいのある方、介護中のご家族、生活困窮者世帯などのほかに、手稲区社会福祉協議会が必要と認めた方が対象となります。

公的介護サービスや有料サービスを利用できる場合、そちらが優先となります。

活動そのものに係る費用は無料ですが、交通費は実費相当を負担していただきます。



～詳しくは本会（裏面）までお問い合わせください～

生活支援コーディネーター（生活支援推進員）とは？

ひとり暮らし世帯や支援を必要とする高齢者が増加する中、地域組織やボランティア、老人クラブ、社会福祉法人、NPO、民間企業など地域の多様な主体が連携を図り、ちょっとした生活の困りごとを解決する高齢者の生活支援「**支え合いの仕組みづくり**」を行います。

生活支援推進員の役割

地域資源の把握

地域にある様々な情報を把握します

サロンやボランティアグループ、地域にある自然な支え合い活動などの社会資源を把握して、みなさんと共有します。

困りごとの把握・共有

生活に関する困りごとを調べます

地域住民の困りごとについて、アンケートや聞き取り調査などで把握・分析し、住民のみなさんや関係機関と一緒に、解決方法を考えます。

話し合いの場づくり

みなさんと話し合う場を設けます

地域のみなさんと5年・10年先の将来の地域の姿を話し合う場を設けます。

担い手の育成・発掘

元気な高齢者の社会参加を応援します

住民への説明会、ボランティア講座やワークショップの開催などを通じ「住民主体の支え合い」の重要性を伝え、地域の困りごとを支援する担い手を養成します。

手稲区では、第1エリア（前田、新発寒、富丘西宮の沢）を米谷（よねや）が、第2エリア（手稲中央、手稲鉄北、稲穂金山、星置）を佐藤（さとう）が担当しています。

日頃の生活を支える情報をお知らせします

ていね知っトク情報



配食サービス



介護タクシー



薬局



生活支援



便利屋



訪問理美容



ペットホテルなど

ていね知っトク情報



手稲区社会福祉協議会のホームページに「**ていね知っトク情報**」を掲載しています。買い物に関する情報や生活支援、ペットの預かりについてなど、主に手稲にお住まいの高齢者の皆様の暮らしに役立つサービス情報を一覧にまとめています。QRコードを読み取っていただくか、下記までお問い合わせください。

札幌市手稲区社会福祉協議会

〒006-0811 札幌市手稲区前田1条11丁目 手稲区民センター1階

担当：生活支援コーディネーター 米谷・佐藤

TEL 011-681-2644 FAX 011-684-8560

ホームページ <https://www.sapporo-shakyo.or.jp/about/teine-shakyo/>



社協HP

